

1 天気と情報①天気の変化 (指導時期4～5月・9時間)

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
1 天気と雲	1	○天気の変化を見て、気付いたことを話し合う。	<p>【態度】 天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>
	2 3 4	○天気は、雲の様子とどのような関係があるかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○雲の様子と天気の変化の関係を調べる。 ◆ 観察 ○深めよう「いろいろな雲を調べてみよう!」を行う。	<p>【思・判・表】 天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p> <hr/> <p>【知・技】 天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉</p> <hr/> <p>【知・技】 天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
	5 6 7	○天気はどのように変わっていくかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○気象情報と天気の変化の関係を調べる。 ◆ 調べる	<p>【思・判・表】 天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
2 天気の変化			

8	○深めよう「明日の天気を予想してみよう!」を行う。	【知・技】 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 〈発言分析・記録分析〉
9	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」を行う。	【態度】 天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

【準備物】

雲や天気に関する資料、観察カード、タブレット、クリップ付きボード、新聞などの気象情報（雲画像、雨量情報、風向・風速情報など）、方位磁針

2 生命のつながり①植物の発芽と成長（指導時期5～6月・14時間）

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
1 発芽の条件	1 2	○発芽に必要な条件について、気付いたことを話し合う。 ○発芽に水が必要か調べる。	【態度】 植物の発芽についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	3 4 5 6	○種子が発芽するためには、水のほかに何が必要なのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○発芽に空気が必要かどうか、条件を整えて調べる。 ◆ 実験 1-1 ○発芽に温度が関係するかどうか、条件を整えて調べる。 ◆ 実験 1-2	【思・判・表】 植物の発芽について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 <hr/> 【知・技】 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
2 発芽と養分	7 8 9	○種子には、発芽に必要な養分が含まれているのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○ヨウ素液の使い方を知る。 ○種子に養分が含まれているかどうか、発芽して成長したものの子葉と比べながら調べる。 ◆ 実験 2	【知・技】 植物の発芽について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 <hr/> 【知・技】 植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	10 11 12 13	○植物の成長には、どのような条件が関係するのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○成長に日光が関係しているかどうか	【思・判・表】 植物の成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

	<p>か、条件を整えて調べる。</p> <p>◆ 実験 3-1</p> <p>○成長に肥料が関係しているかどうか、条件を整えて調べる。</p> <p>◆ 実験 3-2</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>植物の成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>〈発言分析・記述分析〉</p>
14	<p>◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。</p>	<p>【知・技】</p> <p>植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。</p> <p>〈発言分析・記述分析〉</p> <p>【態度】</p> <p>植物の発芽と成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>

3 生命のつながり②メダカのたんじょう（指導時期6～7月・12時間）

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
メダカのたまご の変化	1	○メダカを見て、気付いたことを話 し合う。 ○メダカを飼って観察する。	【態度】 魚の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	2		【知・技】 魚には雌雄があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
3	【思・判・表】 魚の発生や成長について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉		
	4	○メダカは、卵の中でどのように変化してたんじょうするかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○双眼実体顕微鏡（または解剖顕微鏡）の使い方を知る。 ○メダカの卵の中の様子を、変化したところを比べながら調べる。 ◆ 観察	【知・技】 魚の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
	5		【思・判・表】 魚の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
	6		【知・技】 生まれた卵は日がたつにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	7		
	8		
	9		
	10		

11 ◎「確かめよう」、「学んだことを
12 生かそう」、「ふり返ろう」を行
う。

【態度】

魚の発生や成長について学んだこと
を学習や生活に生かそうとしてい
る。

〈行動観察・発言分析・記述分析〉

4 天気と情報②台風と防災 (指導時期 7月・6時間)

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
台風の接近と天気	1	○台風が近づいたときに何が起こるのかを話し合う。	<p>【態度】 台風についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>
	2	○台風が近づくと、天気はどのように変わるかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○台風が近づいたときの気象情報と天気の変化の関係を調べる。 ◆ 調べる	<p>【思・判・表】 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
	3		<p>【知・技】 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉</p>
	4		<p>【思・判・表】 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
			<p>【知・技】 天気の変化は映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p>

<p>5 6</p>	<p>◎「確かめよう」、「学んだことを 生かそう」、「ふり返ろう」を行 う。</p>	<p>【知・技】 台風の進路は天気の変化の規則性が 当てはまらないこと、また、台風が もたらす降雨は短時間に多量になる ことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p> <hr/> <p>【態度】 台風について学んだことを学習や生 活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>
----------------	--	---

5 生命のつながり③植物の実や種子の作り方（指導時期 9月・8時間）

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
1 花のつくり	1	○植物の育ち方を思い出し、花と実について気付いたことを話し合う。 ○花は、どのようなつくりになっているかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○花のつくりを他の花と比べながら調べる。 ◆ 観察 1	【態度】 植物の結実についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	2		【思・判・表】 植物の結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
2 受粉の役わり	3	○顕微鏡の使い方を知る。 ○花粉の様子を調べる。	【知・技】 植物の結実について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
	4		【思・判・表】 植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
	5	○アサガオの花粉は、いつおしべからめしべに付くのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○花が開く前と後のおしべとめしべを比べながら調べる。 ◆ 観察 2	【思・判・表】 植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
	6	○受粉すると、花にはどのような変化が起こるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○受粉させた花と受粉させなかった花の変化を、条件を整えて調べる。 ▲ 実験	【思・判・表】 植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
	7		【思・判・表】 植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

	◆ 実験	<p>【知・技】</p> <p>花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。</p> <p>〈発言分析・記述分析〉</p>
8	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	<p>【態度】</p> <p>植物の結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p> <p>〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>

【準備物】

アサガオの株、バット、タブレット、植物図鑑、[観察カード、色鉛筆]、セロハンテープ、スライドガラス、顕微鏡、虫眼鏡、ピンセット、袋、モール(2色)、[ツルレイシの株、筆]

6 流れる水のはたらきと土地の変化 (指導時期 9～10月・14時間)

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
1 流れる水のはたらき	1 2	○教科書p.86～87の写真を見て気付いたことを話し合う。	【態度】 流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	3 4 5 6 7	○流れる水には、どのような働きがあり、量によって違いがあるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○流れる水の量とその働きの間係を調べる。 ◆ 実験	【思・判・表】 流れる水の働きと土地の変化について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 <hr/> 【知・技】 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
2 川のように	8 9	○流れる場所によって、川原の石にはどのような違いが見られるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○流れる水の速さと川原の石の大きさや形の間係を調べる。 ◆ 調べる1	【知・技】 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
3 流れる水と変化する土地	10 11 12	○川を流れる水の量が増えると、土地の様子はどうに変化するのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○水の量の変化と土地の変化の間係を調べる。	【思・判・表】 流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

	を調べる。 ◆調べる2	<p>【知・技】 雨の降り方によって、流れる水の量や速さは変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
13	○防災「こう水への備え」を行う。	<p>【知・技】 流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉</p> <p>【態度】 流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>
14	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	<p>【態度】 流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>

【準備物】

川の上流・下流に関する資料（図書資料、映像資料）、土、スコップ（大型）、雨どい、ペットボトル（500 mL）、セロハンテープ、ホース、流水実験器（穴のあいたトレー）、千枚通し（教師用）、クリップ付きボード、水槽（理科実験用）、移植ごて、おがくず、ソース入れカップ、すべり止めマット、[小さな板、紐、板（小石や砂をのせる、水をさえぎる）、小石や砂、タオル、運動靴（濡れてもよい物）、ライフジャケット、救急用品]、洪水時の様子がわかる資料、タブレット、タブレットスタンド、[旗]、流路の型、記録カード、はさみ、コップ（プラスチック）、新聞紙

7 もののとけ方 (指導時期10～11月・13時間)

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
1 とけたものの ゆくえ	1	○薬品の扱い方を知る。 ○食塩を水に溶かして、気付いたことを話し合う。	【態度】 物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	2 3 4	○水に物を溶かした後の水溶液の重さはどうなるかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○電子天秤の使い方を知る。 ○溶かす前の全体の重さと溶かした後の全体の重さを比べながら調べる。 ◆ 実験1	【思・判・表】 物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 <hr/> 【知・技】 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	5	○深めよう「どのようにとけているか見てみよう!」を行う。	【態度】 物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
2 水にとけるもの の量	6 7	○物が水に溶ける量には限りがあるかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○物が水に溶ける量を、条件を整えて調べる。 ◆ 実験2	【思・判・表】 物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 <hr/> 【知・技】 物が水に溶ける量には、限度があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	8 9	○物の溶ける量を増やすには、どのようにすればよいかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○水の量や水溶液の温度を変えたときの物が水に溶ける量を、条件を整	【思・判・表】 物の溶け方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

		えて調べる。 ◆ 実験3	【知・技】 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
3 とかしたもののとり出し方	10	○ろ過の仕方を知る。	【思・判・表】 物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 物の溶け方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 溶けている物を取り出すことができることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	11	○実験3 [イ] の水溶液をろ過する。	
	12	○水溶液に溶けている物を取り出すにはどのようにすればよいかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○駒込ピペットの使い方を知る。 ○水の量や水溶液の温度と、溶けている物が出てくることを関係付けて調べる。 ◆ 実験4	
	13	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	【態度】 物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

【準備物】

ビーカー（500 mL、200 mL）、ティーバッグ、塩化ナトリウム（食塩）、割り箸、薬包紙、薬さじ、保護眼鏡、[顕微鏡、スライドガラス]、サンプル管（100 mL）、電子てんびん（実験用）、コーヒーシュガー、攪拌棒、色鉛筆、ミョウバン（硫酸カリウムアルミニウム12水和物）、メスシリンダー（100 mL）、スポイト、紙（黒）、ラップフィルム、輪ゴム、ビニルテープ、発泡ポリスチレン容器、湯、ろうと、ろうと台、ろ紙、実験用ガスこんろ、ガスボンベ、金網、[アルコールランプ、マッチ（またはガスマッチ）、空き缶（燃えがら入れ）、三脚]、蒸発皿、駒込ピペット、ぬれ雑巾、プラスチック容器（氷水を入れる）、氷、[ペトリ皿、保冷剤]

8 ふりこの性質 (指導時期11～12月・12時間)

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
ふりこの1往復する時間	1 2 3	○振り子を作って、音楽などに合わせて動かしたときに、気付いたことを話し合う。	<p>【態度】 振り子の運動の規則性についての事 物・現象に進んで関わり、粘り強 く、他者と関わりながら問題解決し ようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>
	4 5 6 7 8 9	<p>○振り子の1往復する時間は、何に よって変わるのかを調べる方法につ いて、計画を立てる。</p> <p>★ 計画</p> <p>○振り子の10往復する時間をはか る。</p> <p>○1往復する時間の求め方を知る。</p> <p>○振り子の1往復する時間は、振り 子の長さで変わるか条件を整えて調 べる。</p> <p>◆ 実験 1-1</p> <p>○振り子の1往復する時間は、おも りの重さで変わるか条件を整えて調 べる。</p> <p>◆ 実験 1-2</p> <p>○振り子の1往復する時間は、振れ 幅で変わるか条件を整えて調べる。</p> <p>◆ 実験 1-3</p>	<p>【思・判・表】 振り子の運動の規則性について、予 想や仮説を基に、解決の方法を発想 し、表現するなどして問題解決して いる。 〈発言分析・記述分析〉</p> <hr/> <p>【知・技】 振り子の運動の規則性について、観 察、実験などの目的に応じて、器具 や機器などを選択して、正しく扱い ながら調べ、それらの過程や得られ た結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉</p> <hr/> <p>【思・判・表】 振り子の運動の規則性について、観 察、実験などを行い、得られた結果 を基に考察し、表現するなどして問 題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p> <hr/> <p>【知・技】 振り子が1往復する時間は、おもり の重さなどによっては変わらない が、振り子の長さによって変わるこ とを理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p>

10	○深めよう「ふりこの長さをもっと長くしてみよう！」を行う。	【態度】 振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
11	○作ってみよう「メトロノームを作ってみよう！」を行う。	【態度】 振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
12	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	【態度】 振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

【準備物】

糸（たこ糸など）、玉（ガラス・木・金属）、両面テープ、粘着テープ、CD、CDプレーヤー、はさみ、スタンド、ダブルクリップ、厚紙、分度器、油性ペン、デジタルタイマー、[ストップウォッチ]、記録カード、模造紙、シール（赤・青・黄色）、丈夫な紐（ロープなど）、ボール、ボール用のネット、クリップ付きボード、[電卓、タブレット]、磁石（フェライト）、工作用紙、セロハンテープ、目玉クリップ、竹ひご、ペットボトル（1.5L）、[メトロノーム]

9 電磁石の性質 (指導時期 1～2月・15時間)

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
1 電磁石の極	1	○電磁石の作り方を知る。	<p>【態度】 電流がつくる磁力についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p> <p>【知・技】 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
	2 3 4	○作った電磁石と磁石の性質を比べて、気付いたことを話し合う。 ○電磁石と磁石の性質を比べる。	
	5	○電磁石の極を変えるには、どのよ	<p>【思・判・表】 電磁石がつくる磁力について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p> <p>【知・技】 電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
	6 7	うにすればよいかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○電流の向きと電磁石の極のでき方を関係付けて調べる。 ◆ 実験1	
2 電磁石の強さ	8	○電磁石が鉄を引き付ける力を強く	<p>【知・技】 電磁石がつくる磁力について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉</p> <p>【思・判・表】 電磁石がつくる磁力について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
	9 10 11 12 13	するにはどのようにすればよいかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○100回巻のコイルの作り方を知る。 ○電流の大きさや電磁石の強さの関係を条件を整えて調べる。 ◆ 実験2-1 ○コイルの巻数と電磁石の強さの関係を条件を整えて調べる。 ◆ 実験2-2	

		<p>【知・技】 電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わること理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
14	○作ってみよう「電磁石を利用したおもちゃを作ってみよう！」を行う。	<p>【態度】 電磁石がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>
15	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	<p>【態度】 電磁石がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>

10 生命のつながり④人のたんじょう（指導時期 2～3月・12時間）

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
母親のおなかの中での子どもの成長	1 2	○子どもが生まれる前と後の様子について気付いたことを話し合う。	【態度】 人の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	3 4 5 6	○胎児は、母親の子宮の中で、どのように成長して生まれてくるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○胎児の成長の様子をメダカの成長の様子と比べながら調べる。 ◆ 調べる	【思・判・表】 人の発生や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ----- 【知・技】 人の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
	7 8 9 10	○胎児の成長や母親の子宮の中の様子について、まとめたことをプレゼンテーションアプリなどを使って分かりやすく発表する。	【思・判・表】 人の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ----- 【知・技】 人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	11 12	◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	【態度】 人の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉